

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年10月24日（水）

### 2 確認箇所

雑固体廃棄物焼却設備A系

### 3 確認項目

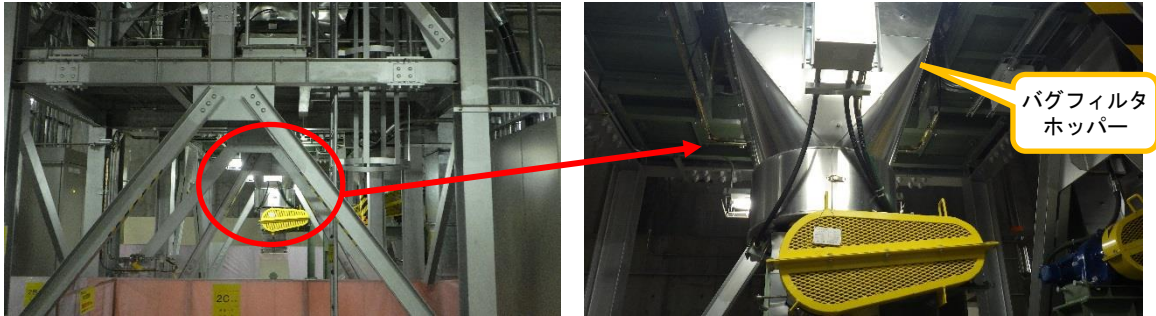
雑固体廃棄物焼却設備A系のエリア放射線モニタ指示値上昇の対応状況

### 4 確認結果の概要

雑固体廃棄物焼却設備A系においては、平成30年9月21日に、焼却設備室A系のエリア放射線モニタ（空間線量率の監視装置）の指示値が通常よりも上昇し、焼却設備の稼働を停止する事象があったことから、その後の対応状況等について確認した。

なお、エリア放射線モニタの指示値上昇は、焼却設備室A系内のバグフィルタ下部（ホッパー部）が焼却灰で閉塞したことが影響したと推定されている。

- ・東京電力によると、バグフィルタホッパー内に堆積していた焼却灰の除去を10月1日に実施したところ、エリア放射線モニタの指示値が、 $0.6\sim 0.7\ \mu\text{Sv}/\text{時}$ から通常値の $0.3\sim 0.4\ \mu\text{Sv}/\text{時}$ に低下したとのことであり、その後も指示値の上昇が無いことを確認して、焼却設備を再稼働したとのことであった。
- ・現場確認時には、雑固体廃棄物焼却設備A系は正常に稼働しており、焼却設備室A系のエリア放射線モニタの指示値は、 $3.59\times 10^{-4}\text{mSv}/\text{時}$ （ $0.359\ \mu\text{Sv}/\text{時}$ ）と通常値であった。（写真1、写真2）
- ・なお、雑固体廃棄物焼却設備B系も正常に稼働しており、焼却設備室B系のエリア放射線モニタの指示値も通常値であった。（制御室で確認した値： $3.18\times 10^{-4}\text{mSv}/\text{時}$ （ $0.318\ \mu\text{Sv}/\text{時}$ ））



(写真1) バグフィルタホッパーの状況



(写真2)  
焼却設備室A系のエリア放射線モニタの状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。